



図5 生簀設置場所

2. 結果及び考察

昭和55年7月18日より同年9月25日まで飼育を行なった。水温は27.0～32.0℃で、塩分濃度は30.00～34.47‰であった。

表7 飼育結果

区分	収容月日	尾数	平均 尾叉長	飼育 日数	取揚 尾数	平均 尾叉長	歩留り	備考
1区	7月18日	2,500	37.5	120	1,769	92.8	70.8	} 標識 放流
2区	7月19日	1,500	25.4	119	1,262	80.2	84.1	

輸送によると思われる斃死はほとんどなかった。毎日、生簀内に潜水し斃死魚の有無を確認したが1区は36尾、2区は44尾であった。また、鳥が毎日飛来し、生簀網周辺にむらがっており生簀内斃死魚の中には、両体側に傷のあるものもあったことから、最も大きな減耗の原因は鳥害であると思われる。

V 要 約

ハマフエフキの産卵は昭和55年2月19日に始まり、8月11日まで産卵を確認した。174日間のうち98回の産卵があり、3月下旬から5月下旬が産卵盛期と考えられる。

500ℓ、1,000ℓ水槽を使用してカキsp幼生の投与量をそれぞれ3段階に分けて、ふ化後10日目までの初期餌料飼育試験を行なった。その結果、全長3.9～4.2mmまでの歩留りは8.7～